

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	開設し、7年目ともなり4～7年目の利用者さんが認知症、ADL低下の両面での重度化がすすんできている。重度化にともなう入院、怪我を防ぐ取組みと家族との係わりが重要となってくる。	既往症・現在治療中の病気も含め、急変する前にいち早く状態変化に気づけるようにスタッフのスキルアップをはかっていきたい。医師と家族と事業所で、相談しながらできるだけグループホームでの生活を継続できるように利用者を支えていく。	定期的な検査での経過観察と予防措置で健康管理を行う。スタッフ研修の強化。利用者の既往症や緊急時の対応についての研修。	12ヶ月
2	4 35	地域には徐々に受け入れられるようになってきた事業所ではあるが、事業所の理念にある「地域に根ざしたグループホーム」をより一層目指すための取組み。地域との災害対策。	地域での介護・認知症に関する相談窓口になれる事業所を目指す。スタッフの介護や認知症に関する知識も必要となるのでレベルアップも必要。地域住民への協力体制の働きかけ。	開かれた事業所のため、運営推進委員会の開催に少しでも多くの地域住民の方に参加していただけるよう働きかけ。専門性の高いスタッフの育成のための研修。運営推進委員会を通じ、事業所の活動内容を知ってもらい、協力を呼びかける。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月